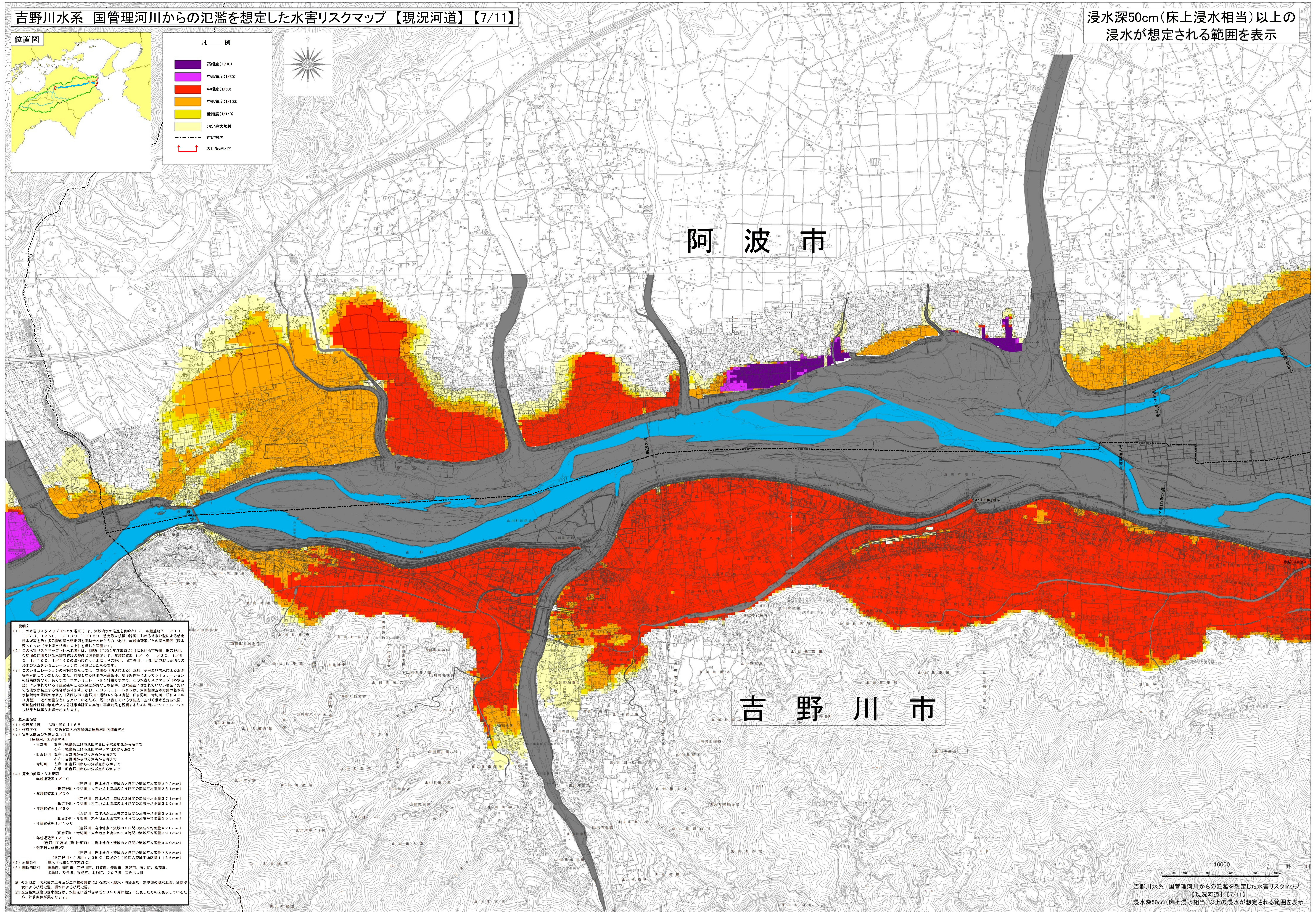




凡 例

- 高規模(1/10)
- 中高規模(1/30)
- 中規模(1/50)
- 中低規模(1/100)
- 低規模(1/150)
- 想定最大規模
- 市町村界
- 大臣管理区間



阿 波 市

吉 野 川 市

1. 説明文

(1) この水害リスクマップ(外水氾濫)は、流域治水の推進を目的として、年超過確率1/10、1/30、1/50、1/100、1/150、想定最大規模の各規模における水氾濫による想定最大浸水域等を年々多段階の浸水想定範囲を重畳させたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲(浸水深50cm(床上浸水相当)以上)を示した図面です。

(2) この水害リスクマップ(外水氾濫)は、(国交)令和2年度末時点における吉野川、田吉野川、今切川の河況及び洪水予測前提の氾濫状況とを組み立て、年超過確率1/10、1/30、1/50、1/100、1/150の各規模に伴う洪水により吉野川、田吉野川、今切川が氾濫した場合の洪水の浸水範囲をシミュレーションにより算出したものであります。

(3) このシミュレーションの実況にあたっては、支川の(浸水による)氾濫、家屋及び内水による氾濫等を考慮していません。また、前提となる降雨の河川遡上、地形条件等によるシミュレーションの浸水範囲と、あくまでも一つのシミュレーション結果であり、この水害リスクマップ(外水氾濫)に示されている年超過確率と浸水範囲が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区においても洪水が発生する場合があります。なお、このシミュレーションは、河川整備基本方針の基本水防対策の検討のため、(浸水想定)吉野川、田吉野川、今切川、(河況)令和2年9月期)、(降雨量)などを用いているため、既に公表している水防法に基づく浸水想定区域、河川整備計画の浸水想定区域とは各種事象を計画的に事業効果を検明するために用いたシミュレーション結果と異なる場合があります。

2. 基本事項

(1) 公表年月日 令和4年9月16日

(2) 作成主体 国土交通省四国地方整備局徳島河川国庫事務所

(3) 実施内容及び対象となる河川

【徳島川(河川管理区間)】

- 吉野川 左岸 徳島県三好市田吉野山字穴地先から海まで
- 右岸 徳島県三好市田吉野山字穴地先から海まで
- 田吉野川 左岸 吉野川から分岐点から海まで
- 右岸 吉野川から分岐点から海まで
- 今切川 左岸 田吉野川から分岐点から海まで
- 右岸 田吉野川から分岐点から海まで

(4) 算出の前提となる降雨

- 年超過確率1/10 (吉野川 最上地点上流域の2日間の流域平均雨量32.2mm)
- (田吉野川・今切川 大寺地点上流域の2.4日間の流域平均雨量2.61mm)
- 年超過確率1/30 (吉野川 最上地点上流域の2日間の流域平均雨量37.1mm)
- (田吉野川・今切川 大寺地点上流域の2.4日間の流域平均雨量32.5mm)
- 年超過確率1/50 (吉野川 最上地点上流域の2日間の流域平均雨量39.2mm)
- (田吉野川・今切川 大寺地点上流域の2.4日間の流域平均雨量35.3mm)
- 年超過確率1/100 (吉野川 最上地点上流域の2日間の流域平均雨量42.0mm)
- (田吉野川・今切川 大寺地点上流域の2.4日間の流域平均雨量39.1mm)
- 年超過確率1/150 (吉野川 最上地点上流域の2日間の流域平均雨量44.0mm)
- (田吉野川・今切川 大寺地点上流域の2.4日間の流域平均雨量41.35mm)
- 想定最大規模※2 (吉野川 最上地点上流域の2日間の流域平均雨量76.5mm)
- (田吉野川・今切川 大寺地点上流域の2.4日間の流域平均雨量113.5mm)

(5) 河況条件 現況(令和2年度末時点)

(6) 関係河川 徳島川、今切川、吉野川、田吉野川、阿波川、美濃川、三好川、石井川、松波川、上島川、飯石川、吉野川、上野川、つるぎ川、あまよし川

※1 外水氾濫 洪水の上昇及び土砂の影響による洪水、濁り、浸水、無防備の浸水、堤防破壊による浸水、洪水による浸水、浸水による浸水。

※2 想定最大規模の浸水想定は、水防法に基づき平成28年6月に指定・公表したものを表示しているため、計算条件が異なります。

1:10000

吉野川水系 国管理河川からの氾濫を想定した水害リスクマップ  
【現況河道】【7/11】  
浸水深50cm(床上浸水相当)以上の浸水が想定される範囲を表示

この地図の作成に当たっては、吉野川市長の承認を得て、同市発行の1万分の1吉野川市地形図を使用したものである。(承認番号 4吉都第69号)  
この地図は、美馬市の承認を得て複製したものである。(承認番号 美第549号)  
この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基礎地図情報を使用したものである。(測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R.4.Hs.322)